

「Creation, Innovation, and Globalization—知の創造, 技の革新, そして世界へ」をメインテーマに、グローバル化時代の放射線医学を展望

4月11日(木)～14日(日), パシフィコ横浜を会場に, JRC2013が開催された。メインテーマは, 「Creation, Innovation, and Globalization—知の創造, 技の革新, そして世界へ」。かねてから国際化が進む JRC であるが, 今回は口演スライドや CyPos の英語表記はもとより英語口演の増加など, グローバリゼーション時代を展望させる4日間となった。

ITEM ブースレポートなど JRC の話題はインナビネットで!

グローバル化時代の JRC

JRC 2013 では, 第72回日本医学放射線学会総会 (JRS) 会長が本田 浩氏, 第69回日本放射線技術学会総会学術大会 (JSRT) 大会長が杜下淳次氏, 第105回日本医学物理学会学術大会 (JSMP) 大会長が豊福不可依氏と, すべて九州大学が務めた。

JRC は近年, 国際化を大きなテーマに掲げて, RSNA をはじめとする海外の学会との関係を深めるとともに, 海外セッションの充実化などに取り組んできた。JRC 2012 では, ARRS や ESR との正式交流を記念して Collaboration Session が企画された。今回は, 海外交流講演として, 14 の演題がプログラムされ, ゲストスピーカーによる発表が行われたほか, Honorary Member Awarding Ceremony (名誉会員授賞式) も行われた。2日目の12日に行われた合同開会式において, JRC 代表理事の杉村和朗氏は, 「JRC が世界3極の1つとして, 新しい領域で世界に発信し, 医療に貢献していきたい」と述べ, グローバリゼーション時代の JRC のあり方を訴えた。

JRC の国際化の一方, 日本人の研究者, 臨床家の海外での活躍も注目される。合同開会式の後は, 合同特別講演: New Horizons Lecture として, 米国立がん研究所 (NCI) / 米国立衛生研究所 (NIH) 分子イメージングプログラム主任研究員の小林久隆氏が, 「がんの分子イメージングはがん細胞特異治療へと進化する “Molecular Cancer Imaging Can

Evolve to a Cancer-cell Specific Therapy”」をテーマに講演を行った。

また, 13日には, 合同特別企画「Global Human Resource Development: グローバル人育成に向けて」が用意され, 医学部, 産業, 学会, 海外進出における取り組みや体験が報告された。

モダリティの技術革新にも注目

今回のメインテーマには, 「知の創造, 技の革新」が盛り込まれているが, 期間中, モダリティの技術革新を取り上げるプログラムも多く組まれた。12日の合同シンポジウム1「Clinical Applications and Future Prospects for Evolving Imaging Modalities: 進化する画像モダリティとその臨床応用および今後の展望」では, CT, MRI の最新技術についての発表があった。また, 13日には, 合同シンポジウム2「Computer-aided Diagnosis: コンピュータ支援診断」が行われた。14日の合同シンポジウム3「Innovative Technologies in Medical Physics: 医学物理におけるイノベティブテクノロジー」では, X線位相イメージングや陽子線治療における PET イメージングといった, 現在開発が進められている新しい技術について, その第一人者たちが最新動向を紹介した。

3学会ともに参加者数が前年を上回る

このほか, 3学会の会長, 大会長が九州大学所属ということもあり, 13日には福岡ソフトバンクホークス球団取締役会長の王 貞治氏による特別講演2が行われた。この特別講演は, 「野球が教え



JRC 2013 合同開会式



Honorary Member Awarding Ceremony

てくれたもの」と題して, JRS の本田会長も交えて座談会形式での進行となった。

4日間にわたる JRC 2013 では, 第72回日本医学放射線学会総会と第69回日本放射線技術学会総会学術大会が3%, 第105回日本医学物理学会学術大会が10%, 前年の参加者を上回った。また, 12～14日の3日間行われた2013国際医用画像総合展 (ITEM in JRC 2013) には2万1559人が来場した。

◎

JRC 2014 は, 4月10～13日の4日間, パシフィコ横浜会議センターを会場に, ITEM 2014 は11～13日の3日間, パシフィコ横浜展示ホールにて開催される。メインテーマは, 「向き合う, つながる, そして広がる—face to face, face to community, and face to the world」。第73回日本医学放射線学会総会会長は金澤 右氏 (岡山大学大学院), 第70回日本放射線技術学会総会学術大会大会長は江口陽一氏 (山形大学医学部附属病院), 第107回日本医学物理学会学術大会大会長は福士昌弘氏 (首都大学東京大学院) が務める。

● 2013年6月号は JRC 2013 特集です。ご期待ください。



活気を見せる CyPos 会場



王 貞治氏による特別講演2